投　稿　規　程

平成24年8月30日一部改訂

1．著者(共著者を含む)は日本結核病学会会員に限る。

2．論文は結核ならびにその周辺領域に関する学問の進歩に寄与するもので，総説，論壇，原著，短報，症例報告，活動報告，資料，通信とし，他誌に発表されていないもの。また，掲載される論文に対する査読者の意見を論説として掲載することができる。

3．論文の採否は編集委員会の決定による。概ね受付順に掲載する。

4．原稿は原則として，総説・原著・資料・活動報告の場合は刷上り6頁（400字詰原稿用紙25枚程度），論壇･症例報告の場合は刷上り4頁(同15枚程度)とする。図・表及び文献もこれらに含める。ただし図は5個以内とする。ワープロを用いた場合も上記スタイルに準じる。上記制限をこえた場合，及びカラー写真掲載については，すべて著者負担とする。

5．短報は刷上り2頁以内(400字詰原稿用紙10枚程度)。図は2個までとし，文献は最小限にとどめる。原著としての体裁は不充分でも，情報価値の高い研究報告の掲載を目的とする。

6．図･表は原則として英文とする(校閲用に和文を付記)。

7．原稿には英文抄録とその校閲用和文要旨を添付すること。英文抄録は1000ワーズ以内，校閲できるようにダブルスペース（タイプ）とし，題名，著者名，所属，所在地をもその中に含む。また，論文の初めに掲載用の和文抄録（500字以内）を添付すること。原著・短報の抄録の書き方は原稿作成について参照。なお，論文内容を代表し，文献索引作成に役立つと思われる用語（キーワーズ）5～6語を，結核用語事典等を参照して英語ならびに日本語で付記する。ただし，短報の英文抄録は300ワーズ以内とする。

8．掲載された論文に対する意見などを「通信」の欄に掲載することがある（2000字以内)。同一主題に関する討論は1回限りとするが，その採否は編集委員会の決定による。意見は過去6カ月以内に掲載された論文に対するものとする。

9．原稿は横書とし，口語体を用いる。

10. 日本語化した外国語は片かなで書き，無用な外国語はさけ，雑誌名，外国人名等のやむをえないものは原語（活字体）のままとする。

11. 引用文献については，本文に引用された順に番号を付し，末尾に一括して，著者名（3名まで)：題名．誌名（一般に通用する略称でよい)．年（西暦)；巻：頁－頁．の順に掲載する。単行本の場合は，著者名（上記に準ずる)：題名．書名（邦文の場合は特に「　」をつけること)，版数，編者名，発行所，発行地，年（西暦)，引用頁．の順に記載する。

例：(定期刊行物)

1）木野智慧光，佐藤瑞枝，岩崎龍郎，他：非空洞性肺結核に対するINH・RFP2剤併用による短期化学療法（9カ月）の治療成績ならびに遠隔成績．結核．1991 ; 66 : 291−297.

2）Samson PC, Barnwell J, Litting J, et al.: Tuberculous tracheobronchitis. JAMA. 1937 ; 108 : 1850−1855.

3）Wiegeshaus EH: Evaluation of the protective potency of new tuberculosis vaccines. Rev Infect Dis. 1989 ; 11 Suppl 2 : S484−90（19 ref.）

(単行本)

4）松岡緑郎，玉田太朗：喀血，血痰.「診断ハンドブック」，第1版，中尾喜久監修，南江堂，東京，1985，86−87.

5）Heightsman ER, Raasch BN: Diseases of the pleura. In: The Lung, 2nd ed., Heightsman ER, ed., C.V. Mosby Co., Toronto, 1988, 502−540.

引用論文数は原則として，原著30編以内，症例報告20編以内，総説は制限なし，短報は6編以内とする。

12. 度量衡の単位の書き方は，

例：m，cm，mm，m*l*，kg，g，mg，μg等を用いる。

13. 査読の後，著者返送された原稿の再投稿期間は2カ月以内とする。2カ月を経て再投稿された場合は新投稿とする。

14. 発表済の原稿は返付しない。

15. 原稿は写真,図表を含め正副3通（2通はコピーで可。但し写真のコピーは不可)，および共著者の同意書1通（本誌次々頁掲載。コピーして使用)，自己申告によるCOI報告書をそろえ，投稿分類の区分を封筒に明記し，書留便で送付すること。

原稿送付先

〒113−0033　東京都文京区本郷4−8−9　ソフィア本郷

日本結核病学会「結核」編集係

16. 別刷は著者の希望により校正時に申し込むこと。費用は著者負担とする。

17. 全文を英文で投稿することができる。ただし，英文校閲用和文要旨，掲載用和文要旨を添付すること。

18. 本学会誌に掲載された記事，または論文の内容に関する責任は原則的には著者にあり，必ずしも学会の公的見解ではない。但し，著作権（＝著作財産権, Copyright）は，日本結核病学会に帰属する。

19. 版権使用については届け出を必要とする。

掲載論文の版権使用料　3,000円×頁数＋10円*×部数

(*当学会賛助会員は5円)

投稿分類の定義

平成23年12月1日一部改訂

基本：結核ならびにその周辺領域に関する学問の進歩に寄与するもの

	種　　類	内　　容	掲載頁数
1.	原著 Original article	これまでになされていない実験，観察に基づくオリジナリティのある成果と深い考察に基づく論文	6頁，図5個以内 （図・表：英）
2.	短報 Short report	情報価値の高い研究報告と小論文	2頁，図2個以内 （図・表：英）
3.	症例報告 Case report	貴重な症例や臨床的な経験の報告	4頁，図5個以内 （図・表：英）
4.	活動報告 Field Activities	フィールド実践活動・保健看護活動などの価値ある報告	6頁，図5個以内 （図・表：英 or 和）
5.	総説 Review article	ある課題に関する網羅的な解説（文献）と議論	6頁，図5個以内 （図・表：英）
6.	論壇 Issue	研究，活動，政策などに関する議論や提言	4頁，図5個以内 （図・表：英）
7.	資料 Report and information	結核に関連する有用な資料	6頁，図5個以内 （図・表：英）
8.	通信 Letter	過去6カ月以内に学会誌に掲載された論文に対する意見，学会参加報告，見聞録など	2000字以内 図表なし
9.	論説 Editorial	掲載される論文に対する査読者の意見	4000字以内

原稿作成についてのお願い

平成24年8月30日一部改訂

1．原稿はワードプロセッサーで作成する。
　1）①投稿分類・題，②著者および共著者（10名以内），全員の所属，連絡先（氏名・所属・住所・E-mailアドレス），③キーワーズ（和），④和文抄録（掲載用500字以内），⑤本文は1頁400字（20字×20行）または800字（40字×20行）に作成，⑥文献，⑦図・表の順に頁を替えて組む。
　2）英文抄録は，⑧題，⑨著者および共著者，全員の所属，連絡先（氏名・所属・住所・E-mailアドレス），⑩キーワーズ（英），ランニングタイトル（スペースを含む30文字数以内），⑪英文抄録，⑫査読用和訳の順に番号ごとに頁を替えて組む。ただし，保健看護に関わる活動報告については英文抄録は添付しなくともよい。
　3）1)，2）ともに①～⑫まで原稿に番号を記載し，通し頁をつける。
2．1）英文はA4用紙1枚につきダブルスペース（行間アキ）で23行にタイプすること（図・表も同様）。
　2）タイトルは前置詞，冠詞，接続詞以外は大文字。ただし，タイトルの副題またはただし書き，カッコ内の文等は最初のみ大文字（表も同様）。
3．原著・短報の抄録（和文・英文）は目的，対象，方法，結果，考察，結論等を項目立てにする。
4．図・表の書き方（原則的に英文）：
　1）図表はできるだけ簡略にし，それに付する用語もできるだけ短くすること。
　2）表の各欄を分ける横罫，縦罫は，できるだけ省く。
　3）図の線・面種は，明確に区別できるものにすること（データがある場合は添付）。影のある図やカラーは不可（カラー印刷の場合，別料金がかかります）。
　4）図・表は別紙（1図または1表1枚）に記入，本文中に挿入箇所を明示する。
　5）表タイトルは上に，図と写真のタイトルは下につける。
　6）表，図中の説明文および単語等は最初のみ大文字。
5．略語の用い方：本文で最初に用いる時は全記のあと（　）内に記す。図表で略語を用いる場合は，最初の図表のみ略語と全記を脚注に記す。結核用語事典もしくは関連学会用語辞典の略語を用いる。
6．写真は裏面にナンバーと著者名を必ず記入のうえ台紙に添付する。
7．ホームページ等からの引用については，（URL/アクセス年月日）を記載すれば使用可とする。読者が閲覧不能な文献は引用文献として認めない。
8．「資料」を投稿する際，データ以外については，目的，考察，結論等を記載する。
9．掲載が認められた論文についてはあらためて最終原稿に電子メディア（CD-RW，FD，MO等）を送付する。

〔付記〕
- 投稿された論文全てはレフェリー2人による査読を行う（特別に編集委員会から依頼した原稿を除く）。
- 英文は英語に堪能な人の校閲を受けてください。
- 招請講演，特別講演，会長講演，教育講演，シンポジウム等の構成は別に定める。
- 支部学会の一般演題抄録は本文200字以内，特別講演・シンポジウム等は1200字以内。

共著者の同意書

著　者＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　会員番号：＿＿＿＿＿＿＿＿

論文名＿＿

私は本論文の共著者として投稿することに同意致します。

共著者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　会員番号：＿＿＿＿＿＿＿＿　年　月　日

共著者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　会員番号：＿＿＿＿＿＿＿＿　年　月　日

共著者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　会員番号：＿＿＿＿＿＿＿＿　年　月　日

共著者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　会員番号：＿＿＿＿＿＿＿＿　年　月　日

共著者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　会員番号：＿＿＿＿＿＿＿＿　年　月　日

共著者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　会員番号：＿＿＿＿＿＿＿＿　年　月　日

共著者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　会員番号：＿＿＿＿＿＿＿＿　年　月　日

共著者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　会員番号：＿＿＿＿＿＿＿＿　年　月　日